

Island Safari Royal
Maldives

ダイビングの楽しみは色々ある。大きな生き物との遭遇、魚群の渦に囲まれる至福、海中に浮かぶという浮遊感。そして、宝石のような小さな生き物との出会い。どの事象もダイビングの楽しみであることは間違いないが、多くのダイバーの心を鷲掴みにするのは、やはり圧倒的なワイドの世界。スケールの大きな海の中、いっぱい起きるお魚たちの躍動やダイナミックな地形などに憧れを募らせる。今回は、モルディブ最大級のダイブサファリ、アイランドサファリロイヤル号に乗船して、モルディブらしいワイドの景観と、Baa環礁でぐるぐるマンタを味わってきた!



Photo & Text : Yasuaki Kagii



アイランドサファリロイヤル号で行く

MAP
CLICK!

モルディブ・ワイド! ワイド! ワイド! & マンタ! マンタ! マンタ!

S 驚き
Surprise

Island Safari Royal
Maldives
アイランドサファリロイヤル・モルディブ

大きなモルディブの海で、毎日自由に泳ぐお魚たち

S 驚き Surprise

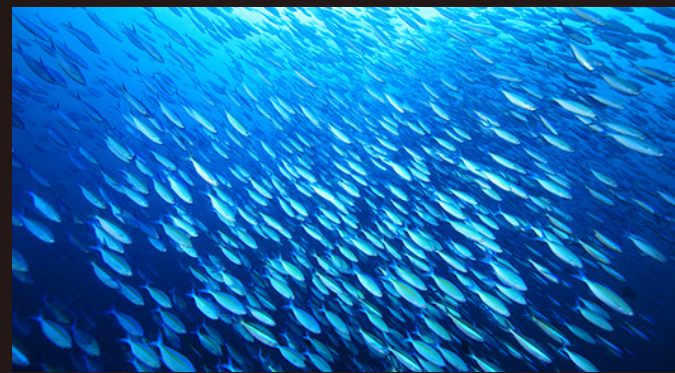


Island Safari Royal
Maldives
アイランドサファリロイヤル・モルディブ



視界いっぱいに広がる海中世界

モルディブの海の特徴の一つとして、大きな群れが挙げられる。例えば、ヨスジフエダイの群れはリーフの至るところで見られる。1ダイブ60分の潜水時間で、時々、気がつくと目の前に現れては良き被写体となってくれる。他の海ならば、そのヨスジフエダイの群れ自体がメインの生き物になりそうだが、モルディブは残念ながらそうではない。ヨスジフエダイの群れは、どちらかというと脇役……という感じ（笑）。オリエンタルスイートリブスもなんと可愛い。潮の流れに向かってみなが一斉に同じ方向を見る。海中に顔だけが並んでいる様子がこれまた印象的になる。そして、海いっぱいを埋め尽くすクマザサハナムロやハギの群れ、まるで流星群のようにきらめいて、朝早くからモルディブの海で輝き続ける。大きく育ったナポレオンやマダラエイの迫力もすごい。上手に接近できた時は、彼らの息づかいを感じる喜びと共に、存在感やデザインの不思議さに思いを寄せる。視界いっぱいにモルディブの海が迫ってくる。



S 驚き
Surprise

Island Safari Royal
Maldives
アイランドサファリロイヤル・モルディブ

アイランドサファリロイヤル号は、毎年7月～11月の新月あたりの週にBaa環礁に行き、「ぐるぐるマンタ」を狙う。2009年にナショナルジオグラフィック誌がハニファルベイのマンタを紹介。そこから一気に「ぐるぐるマンタ」は有名になった。

Baa環礁ハニファルベイで ぐるぐるマンタを狙う

ハニファルベイは西側に向けて口を開ける細長い「C」の字をした浅いリーフで、すり鉢状の砂地で囲われたラグーン。雨季になり、西風が吹くと、西からの潮が多くなり、風と潮に乗ったプランクトンがラグーンに入り込む。その匂いを嗅ぎ付けて、マンタたちがやってくるのだが、ラグーン内のプランクトンは、外に抜けることなくどんどん溜まっていく。それを狙うマンタは競うように捕食にやってくる。雨季の時期のマンタは100枚、200枚になる。各メディアに発表され、世界からダイバー、スノーケラーが集まっている状態だ。

S 驚き Surprise

アイランドサファリロイヤル号は、2009年から毎年、雨季にハニファルベイに来る。多い年は隔週でハニファルベイにやって来ていた。その時のデータを参考にして、現在の月1のコースを用意している。基本的に新月の週を狙うが、満月の週に出る時もあるので、絶対ではないが、高確率で「ぐるぐるマンタ」との出会いを可能にした。基本的にスノーケリングで、触らないのは当たり前のルール。また、マンタの上をボートが進むのは良くないということで、ドーナは浅瀬に係留し、私たちはマンタを刺激しないように泳いでアプローチする。素潜りはOK。泳がない方はウェットスーツやライフジャケットを来て、浮力を確保する。

Island Safari Royal
Maldives
アイランドサファリロイヤル・モルディブ

アイランドサファリロイヤル号はデータを集め、 高確率で「ぐるぐるマンタ」を狙う



Baa環礁の名ポイントたち

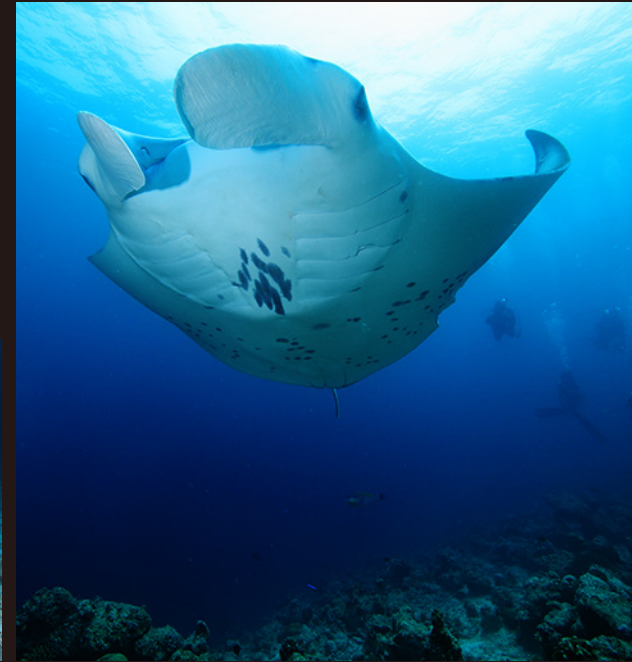
キハットゥファル・ティラ

ハニファルの北西に位置するキハットゥリゾートの東側に細長く伸びる隠れ根。トップが2mと浅く、水面からも確認できる大きな隠れ根。北側斜面は、ダイナミックな地形とヨスジフエダイ、ベンガルスナッパーの群れが特徴。50mから切り立った根で、外洋から潮の影響を受け、魚影も濃い。深場に点在するコーラルブロックには綺麗なソフトコーラルが咲き乱れ、周りを覆うように根付きの魚たちが棲息。それを捕食にくるアジやマグロの仲間たちがいるので、ハンティングなどのシーンも見ることができる。季節によって、ツバメウオやカツオの群れも見られる。



ダラヴァンドゥ・コーナー

ダラヴァンドゥ島から遠浅に伸びるリーフの外洋側に位置する。外洋に面しているために、コーナーらしい群れや中型魚によるハンティングシーンを見ることができる。コーナーの浅場（4m）には、マンタのクリーニングステーションがあり、雨期は高確率で複数のマンタを見ることが出来る。このポイントは、ガイド陣にとって良い思い出が多いとのこと。例えば、ジンベイザメや30枚のマンタの捕食シーン、また白いマンタとの遭遇など何かしらのサプライズが起こるという。特別な何かがあるポイントで、水中でのイルカやカジキの目撃例もある。



ダラヴァンドゥ・ティラ

深場の綺麗な砂地に、スパゲティールやドラキュラゴビーなどのモルディブ固有種のハゼたちを見に行く。コーラルブロックが点在し、時期によっては、スカシテンジクダイやキンメドキがもわっと群れる。そこはマンタのクリーニングステーションもあるので、無数の生命とマンタの壮大な景色を見ることが出来る。



ドンファン・ティラ

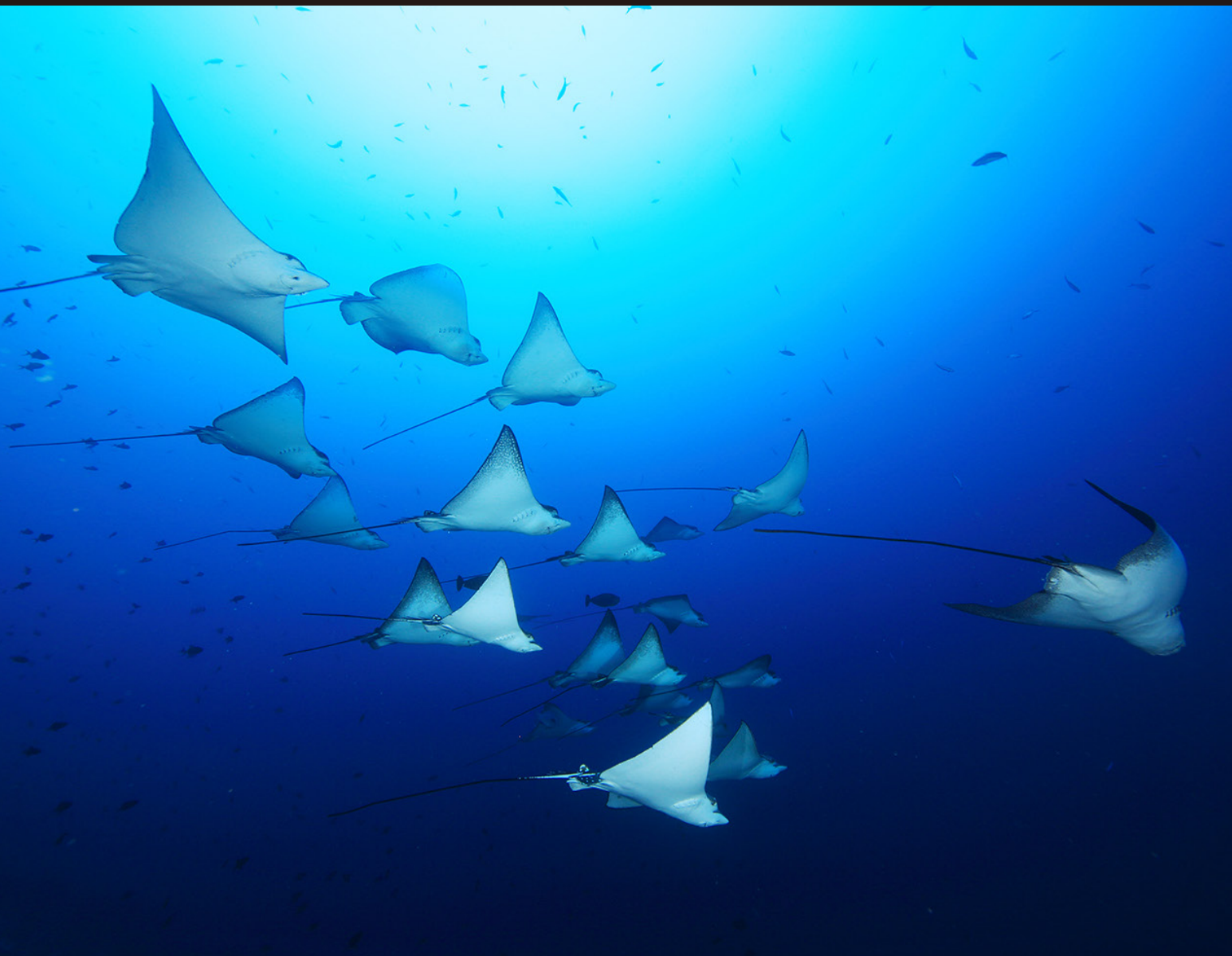
トップが7mの小さな隠れ根。いつでも潮当たりが良く、カスミアジやイソマグロなどのハンティングシーンが見られる。大きなエダサンゴには、キンギョハナダイが群れ、根付きのナポレオンがダイバーの傍にやってくる。のんびり1周しながら、魚影の濃さを楽しむことができる。オーバーハングやケーブをスイムスルーできるので、地形も楽しむことができる。



北マーレ環礁の名ポイント

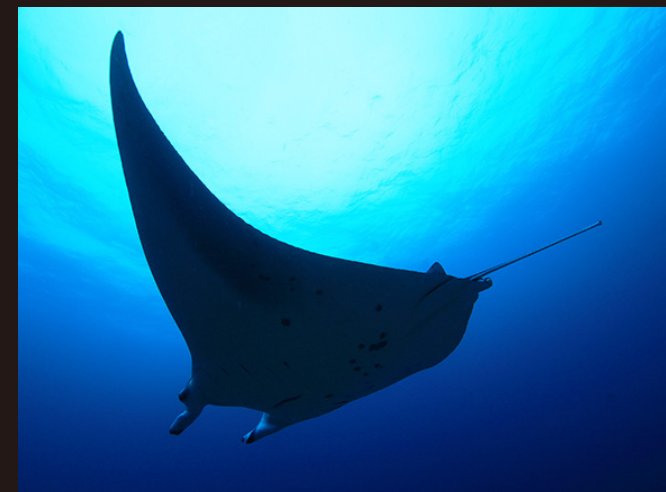
クダファル・フィンガーポイント

北マーレの北西のポイント。外洋に面したリーフの先に小さな根があり、その周辺では、よくマダラトビエイの編隊が見られる。今回も21枚の群れに遭遇。潮当たりの良い場所で待っていると、潮の流れに乗ってマダラトビエイたちが目の前を泳いでくれる。他にネムリブカなどのサメも泳いでいる。



ランカンリーフ

マーレから最も近いマンタポイント。リーフの上にクリーニングステーションがあり、多い時には、8枚以上ものマンタが集まる。ダイブサファリの初日のポイントになることも多く、最初からあっさりと「マンタ見ちゃった!」という好ポイント。クリーニングステーションには、モルディブクマノミが住んでいるので、マンタとクマノミのコラボレーション写真なども撮影できる。



Rロマンス Romance

学生時代、体育と美術はずっと評価が10だった場さんが、もともとログブックに書いていたイラストをフィンなどに書き始めて約3〜4年。ゲストから人気を博している。「基本は水中生物で、ジンベイザメやイルカ、カジキ、またボートの絵のリクエストが多いですが、これまでに面白かったリクエストのひとつとして、ライターの間田さんがシロクマの親子をリクエストされました。初めて書いたのですが、かなり可愛く書けて、あれは楽しい時間でした」と的場さん。白いフィンに書くのは、1本10分くらい。でも黒や色付きのフィンに書くのは、もう少し時間が掛かると言う。これはまったくのサービスで、時間があれば、リクエストベースで書いてくれるとのこと。イラスト記念フラッグはサプライズで用意してくれる。水中での記念撮影も楽しさが倍増だ！ また、最近では、ガラスに模様彫りをするガラスリッチェンなども趣味で行っている。

Island Safari Royal
Maldives
アイランドサファリロイヤル・モルディブ

記念ダイブは、有名ガイド・
的場充弘さんのお手製フラッグで、
そして、お誕生日もシェフ手作りのケーキ！



tsumi-shima
アイランドサファリロイヤル・モルディブ

We
World Explorer



Rロマンス Romance

ダイビングと同じくらい大切なのは 「食事でしょう?(笑)」

Island Safari Royal
Maldives
アイランドサファリロイヤル・モルディブ



アイランドサファリロイヤルの特徴として外せないのが、食事の良さ。朝、昼、晩と3食ビュッフェスタイルで、食事時になると2つの大きなテーブルに様々なメニューが並び、ガイドのめいさんも「食事には気を使っています。豊富な品数、新鮮な食材を提供し、ゲストからも毎回、好評を受けてます!」と話す。まず驚かされるのが、昼と夜に出る大皿に盛られた、ふんだんの生野菜のサラダ。モルディブの洋上でこんなに野菜があるの?と少し驚くくらい、毎回用意されている。ドレッシングは4種類で、マヨネーズやマスタード、バルサミコ酢など。また同じようにフルーツも満載で、パパイヤ、スイカ、オレンジ、パイナップルなど。果物も船に多く載せているという。およそのメニューは、サラダ2種類、お肉料理、お魚料理、温野菜、パスタ、ご飯、カレー他にデザートなどがある。昼は計11メニュー。夜は13メニュー。朝はフルーツとチキンソーセージ、卵料理、マッシュルーム、ホットサンド、トースト、おかゆなど。そして、最後に良いことを聞いた。この船が就航してからメインシェフはずっと同じなのですが、スリランカ人の彼はゲストを「笑わせよう! 喜ばせよう!」という思いが伝わってくる創作料理などを時々作ります。その気持ちがとても嬉しくて、とめいさん。夕方に出されるシェフの手作りおやつも、シェフ自らの提案で始まったもの。甘い物を制限している方でも、是非、味わって欲しい。





ダイビングガイド

モルディブ歴8年の地場充弘さん、16年のガイド歴があるマウルーフ、新人ガイドの板垣貴也さんを中心とするガイド陣。チーム毎に、見た生き物が違わないようにガイド同士が協調性を大切に、大物、レア種など、ゲスト全員が見られるように努力している。水中で、ガイドがどのチームがどこにいるのか？は互いが把握し、水中でも情報の交換が行えるようにしてる。そうすることで、和やかなクルーズライフをみんなで楽しめるようになる。



快適なダイビングホリデーを約束してくれる アイランドサファリロイヤル号

2015年10月で就航からまる8年が経過するモルディブの中でも大型のダイブクルーズ船。最大24名が着席できる広いレストランが魅力で、客室は10部屋。2階のスイートが2部屋、ローデッキには、シングル、トリプル、バンクなどのカテゴリーの部屋が計8室あり、各部屋トイレ・シャワー付きで、お湯の出の評判が良い。後部デッキや、2階の後部デッキには寛げるスペースが、トップデッキには、半屋外のスペースがあり、デッキチェアなどが用意されてる。移動中に気持ちよく過ごすことができるスペースや工夫が随所に見られる。